

## 日本国際政治学会 2006 年度研究大会のご案内

日本国際政治学会 2006 年度研究大会を下記の通り開催いたします。なにとぞ万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。なお、以下のプログラムの報告題目などは暫定的なもので最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますので、ご了承をお願い申し上げます。

2006 年（平成 18 年）9 月 1 日

財団法人 日本国際政治学会

理事長 大芝 亮

### 記

日 時：2006 年 10 月 13 日（金）～10 月 15 日（日）

会 場：かずさアカデミアホール

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-3-9 電話：0438-20-5555

---

10 月 13 日（金）

---

**受付開始 12：30**

**13 日（金）午後の部会 13：00 - 15：30**

#### **部会 1 . 冷戦期アメリカの同盟外交**

司会 上村直樹（広島市立大学）

報告 倉科一希（国際教養大学）「同盟問題としてのドイツ問題」（仮題）

伊藤裕子（亜細亜大学）「マルコス政権期の米比関係とヴェトナム戦争」

森 聡（東京大学大学院）「ヴェトナム戦争をめぐる米英関係」

討論 寺地功次（共立女子大学）

#### **部会 2 . 多国間協議における中国とインド**

司会 天児 慧（早稲田大学）

報告 土屋大洋（慶應義塾大学）

「インターネット・ガバナンスをめぐる世界情報社会サミットにおける中国外交」

川島富士雄（名古屋大学）

「中国の対外経済政策における多国間貿易体制の位置づけ WTO加盟後の対応を中心に」

竹中千春（明治学院大学）

「多国間協議におけるインド外交 核保有と安保理常任理事国問題」

討論 田中孝彦（一橋大学）

### 部会3．比較和平プロセス

司会兼討論 細谷雄一（慶應義塾大学）

報告 江崎智絵（外務省）

「イスラエル・パレスチナ和平交渉の政治力学：交渉過程と履行過程の相関」

牧野久美子（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

「南アフリカの『権力分有』再考」

分田順子（都留文科大学）

「北アイルランドにおける権力分掌の行方 分断社会の再建と集団の権利」

分科会セッションA 15：45 - 17：15 別掲

分科会セッションB 17：30 - 19：30 別掲

---

10月14日（土）

---

受付開始 9：00

14日（土）記念部会（英日同時通訳） 9：30 - 12：00

記念部会1．ラウンドテーブル「国際関係研究の新潮流」

司会 山本吉宣（青山学院大学）

パネリスト J. Ann Tickner（University of Southern California, ISA 会長）

William Thompson（Indiana University, ISA 前会長）

Kim, Hyung Kook（Joongang University, KAIS 会長）

下斗米伸夫（法政大学）

記念部会2．「冷戦と社会」

司会 田中孝彦（一橋大学）

報告 Emily Rosenberg（Macalester College）「冷戦とアメリカ社会」（仮）

Vladimir Pozniakov（Russian Academy of Science）「冷戦とロシア社会」（仮）

前田真理子（一橋大学）「冷戦とジェンダー」

討論 未定

記念部会3．「深化する相互依存とアジアの安全保障」

司会 伊藤 剛（明治大学）

報告 Robert Ross（Boston University）

“Legacy or Its Remnants? : Traditional Security Issues in East Asia”

報告 Amitav Acharya (Nanyang University)

“How Serious Have Been New Ideas?: Emerging Cooperative Security Frameworks in East Asia”

川勝千可子 (防衛研究所)

“Is Japan Pouring Cold Water?: Japan’s Perspectives toward the ‘Hot Economies, Cold Politics’”

討論 添谷芳秀 (慶應義塾大学)

朱 鋒 (北京大学)

#### 記念部会 4 . “Globalism, Regionalism, and Nationalism’ Revisited”

司会 遠藤 乾 (北海道大学)

報告 Julie Smith (Cambridge University) “EU in Global Politics”

篠田英朗 (広島大学) “Nation-States, Peace-Building and Global Society”

丁 偉 (香港バプティスト大学) “Chinese Nationalism and East Asian Regionalism”

討論 鈴木一人 (筑波大学)

分科会セッションC 13:00 - 14:30 別掲

総会 14:30 - 15:00

記念講演 (英日・日英同時通訳) 15:00 - 16:00

司会 李 鍾元 (立教大学)

挨拶 大芝 亮 (日本国際政治学会理事長)

講師 緒方貞子 (国際協力機構理事長) 「新時代の国際関係 協調と対立」

国際シンポジウム (英日・日英同時通訳) 16:00 - 18:30

「新時代の国際関係 地域からの視点」

司会 田中明彦 (東京大学)

パネリスト 緒方貞子 (国際協力機構理事長)

J. Ikenberry (米国プリンストン大学教授、IRAP 共同編集長)

Han Sung-Joo (韓国高麗大学教授、元韓国外務長官)

B. Geremek (欧州議会議員、元ポーランド外相、歴史学者)

Kamel Abu Jaber (元ヨルダン外相、政治学者)

懇親会 18:45 - 20:30 オークラアカデミアパークホテル内大宴会場「平安」

受付開始 9:00

分科会セッションD 9:30 - 11:00 別掲

分科会セッションE 11:15 - 12:45 別掲

15日(日)午後の部会 14:00 - 16:30

**部会4 . グローバル・ガバナンスへの胎動：地雷・環境・ジェンダー**

司会 庄司真理子(敬愛大学)

報告 西谷真規子(神戸大学大学院)

「規範カスケードのダイナミズム：対人地雷の事例」

蓮井誠一郎(茨城大学)「地球温暖化と環境安全保障」

軽部恵子(桃山学院大学)

「国連レジームとジェンダー：グローバル・ガバナンスの可能性」

討論 遠藤誠治(成蹊大学)

阪口 功(学習院大学)

**部会5 . 十九世紀東アジア地域秩序の再編**

司会 川島 真(北海道大学)

報告 荒野泰典(立教大学)「東アジアにおける近世的秩序」

茂木敏夫(東京女子大学)「華夷秩序の近代的再編論」

小林隆夫(愛知学院大学)「イギリスと東アジア世界の変容」

討論 岡本隆司(京都府立大学)

弘末雅士(立教大学)

**部会6 . 戦争とリアリズム：この50年の系譜**

司会 中本義彦(静岡大学)

報告 土佐弘之(神戸大学)

「日本の現実主義の新しい位相：「現実」の社会構築過程」

三牧聖子(東京大学大学院)

「危機の20年のリアリズム：パシフィズムとの共鳴」

大賀 哲(茨城大学)

「<帝国>に抗うリアリスト：「パワーの論理」から「パワーの倫理」へ」

討論 酒井哲哉(東京大学)

樋口敏広(ジョージタウン大学大学院)

## 部会7．第2次世界大戦後のイギリス・アメリカ『非公式帝国』論の可能性

司会 木畑洋一（東京大学）

報告 柴山 太（愛知学院大学）

「英米によるトルコ防衛の決定と冷戦の起源 1945～47」

鈴木陽一（下関市立大学）

「東南アジア地域協力をめぐる英米の冷戦戦略と現地の政治」

半澤朝彦（明治学院大学）

「英米『非公式帝国』の展開と国連」

討論 藤原帰一（東京大学）

松本佐保（名古屋市立大学）

## 部会8．自由論題部会

司会兼討論 波多野勝（常盤大学）

報告 大澤武司（中央大学）

「『戦後日中民間人道外交』の史的考察 1950年代を中心として」

平川幸子（早稲田大学大学院）

「『2つの中国』ジレンマ解決への外交枠組み 「日本方式」の一般化過程の分析」

福田忠弘（早稲田大学大学院）

「南ベトナムにおける革命運動とアメリカの介入 1954～61年を中心に」

阿部悠貴（シェフィールド大学大学院）

「ポスト冷戦期における欧州安全保障体制の社会的構築 旧ユーゴスラヴィアへの対応を通じた NATO の変容に注目して」

討論 広瀬佳一（防衛大学校）

小笠原高雪（山梨学院大学）

## 1. 大会参加費のお願い

1999年度より研究大会のコンベンション方式移行に伴い、会員の皆様から大会参加費をいただくことになっております。本年度は大会参加費を一般会員の皆様に3000円ご負担いただくこととなります。宜しくお願い申し上げます。

## 2. 大会参加費の支払方法について

大会参加費は、宿泊、昼食弁当のお支払いとともに別紙の「参加申込書」を通じて、お支払いいただきます。

宿泊および昼食弁当の要不要、懇親会の出欠に関わらず、「参加申込書」は近畿日本ツーリスト株式会社・東京事務センター宛にお送りいただきたくお願い申し上げます。なお、申し込みの期限(9月13日)は、厳守いただきますようお願い申し上げます。

参加費の事前支払いをいただきました場合には、大会当日に「予約回答書」を必ずご持参下さい。事情により当日に参加費のお支払いをされる場合には、当日登録の窓口を用意しております。ご利用ください。

## 3. 大会会場における年会費の徴収について

年会費は、大会会場の受付デスクにおいても、徴収業務をおこないます。

## 4. 部会報告・記念分科会報告ペーパーについて

今大会より部会報告のペーパーの販売はございません。なお記念分科会(10月14日)の報告ペーパーと共に、部会報告ペーパーは下記のURLにアクセスし、ダウンロードしていただくことが可能です(ただし、提出済みのペーパーのみ)。大会2週間前頃から10月末まで閲覧可能になります。大会会場は一部を除き、無線Lanが利用可能です。詳しくは<http://www.kap.co.jp/hall/network>をご覧ください。

部会・記念分科会ペーパーは会員のみダウンロードが可能です。お手元の大会案内にURLとパスワードが掲載されていますので、ご確認ください。

## 5. 理事会・分科会責任者連絡会議・各種委員会案内

大会期間中に開催が予定されている各種会合は、以下の通りです。

理事会	10月13日	11:00～13:00
評議員会	10月13日	18:00～18:30
評議員会(新)	10月13日	18:30～
企画・研究委員会	10月14日	13:00～14:00
分科会責任者連絡会議	10月14日	12:00～13:00
編集委員会	10月14日	13:30～14:30
ニューズレター委員会	10月15日	13:00～14:00
対外交流委員会	10月15日	13:00～14:00
国際学術交流委員会	10月14日	13:30～14:30
書評小委員会	10月15日	13:00～14:00
英文ジャーナル委員会(IRAP編集委員会)	10月15日	12:00～13:00
IRAP Editorial Board Meeting	10月15日	13:00～14:00

理事会、分科会責任者連絡会議には昼食弁当を用意いたしますが、他の各種委員会には用意いたしません。ご了承下さい。

## 6. 懇親会について

14日の懇親会は、大会会場に隣接のオークラアカデミアパークホテル内大宴会場「平安」において開催する予定です。

## 7. 昼食について

会場内に喫茶コーナー、オークラアカデミアパークホテル内にレストランがございますが、混雑が予想されます。昼食につきましては弁当のご注文をおすすめいたします。

## 8. 大会に関するお問い合わせ

大会実行委員長 佐々木卓也(立教大学)

電話：03-3985-2542      ファックス：03-3983-0174      電子メール：tsasaki@rikkyo.ne.jp

## 日本国際政治学会 2006 年度研究大会分科会プログラム

本プログラムは、2006 年 9 月現在の暫定版です。最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますのでご了承下さい。なおプログラムに関するお問い合わせは、分科会代表幹事（平岩俊司 [ E メール ] hiraiwa@u-shizuoka-ken.ac.jp）までお願い致します。

10月13日(金)

分科会セッションA (15:45~17:15) / セッションB (17:30~19:30)

A - 1 / B - 1 (連続) 日本外交史 ・ (責任者: 黒沢文貴)

《日本外交史研究と情報公開》(仮題)

報告 「外務省記録と情報公開制度」(仮題) 外務省 山谷 裕幸  
報告 「いわゆる『戦後外交記録公開制度』の沿革と課題と提言」(仮題)  
中央大学(非常勤) 原口 邦紘  
報告 「日米外交文書の相補的利用から見える日本の情報公開制度の可能性と  
限界 日米関係史研究の視点から」(仮題)  
桜美林大学(非常勤) 黒崎 輝  
報告 「戦後日本の多国間外交研究をめぐる日米英三国の史料事情と  
問題点」(仮題) 筑波大学 潘 亮  
報告 「日本外交文書の有用性と限界 米英豪との比較で」(仮題)  
政策研究大学院大学 宮城 大蔵  
討論者 法政大学 河野 康子  
司会者 筑波大学 波多野澄雄

A - 2 / B - 2 (連続) 欧州国際政治史・欧州研究 ・ (責任者: 森井裕一)

[ ](A - 2)

報告 “Germany and the Future of the EU: Still the ‘Motor’ of European Integration?”  
Universität Frankfurt Gunther Hellmann  
討論者 明治大学 川嶋 周一  
司会者 東京大学 森井 裕一

[ ](B - 2)

報告 「西独の東方・ドイツ問題政策の変容とイギリス 1963-69」  
キングスカレッジ大学院 南日 賢  
「ドイツの NATO 域外派兵政策の変容」  
県立長崎シーボルト大学 中村登志哉  
討論者 東京外国語大学 若松 邦弘  
政策研究大学院大学 岩間 陽子  
司会者 東京大学 森井 裕一

A - 3 / B - 3 (連続) アメリカ政治外交 ・ (責任者: 滝田賢治)

《BRICs とアメリカ》

報告	「BRICs とアメリカ: ブラジル」	神田外国語大学	子安 昭子
報告	「BRICs とアメリカ: ロシア」	杏林大学	斉藤 元秀
報告	「BRICs とアメリカ: インド」	尚美学園大学	堀本 武功
報告	「BRICs とアメリカ: 中国」	駒澤大学	三船 恵美
討論者		外務省	鈴木 勝也
討論者		朝日新聞社	高成田 享
司会者		中央大学	滝田 賢治

A - 4 理論と方法 (責任者: 飯田敬輔)

報告	「構成主義者と合理主義者の連携 国際関係論は政策に貢献できるのか」	防衛・戦略問題研究所 (シンガポール)	勝間田 弘
報告	「国際政治理論の再考 分析アクターの観点から」	中央大学大学院	森山あゆみ
報告	「ネットワークとしての国際政治システム」	慶應義塾大学大学院	古川園智樹
討論者 / 司会者		青山学院大学	飯田 敬輔

B - 4 理論と方法 (責任者: 飯田敬輔)

《国際政治学のマルチエージェントシミュレーション》

報告	「温暖化対策国際制度の可能性: CDM 改革による途上国排出削減効果のエージェントベースシミュレーション」	東京工業大学	蟹江 憲史
報告	「マルチエージェントシミュレーションによる民主化波及の分析」	神戸大学大学院	平野 淳一
報告	「国際システムにおける融合と分裂」	東京大学	光辻 克馬 阪本 拓人 山影 進
討論者		南カリフォルニア大学	ハイワード・アルカー
司会者		東京大学	田中 明彦

A - 5 / B - 5 (連続) 国際統合 (責任者: 小久保康之)

報告	「NATO における災害救援と同盟の変革 パキスタン地震救援活動の事例から」	ロンドン大学キングス・カレッジ	鶴岡 路人
報告	「欧州連合・欧州安全保障防衛政策の危機管理作戦の展開」	国際基督教大学	植田 隆子
報告	「欧州統合と「世俗主義」(仮題)」	九州大学	八谷まち子



討論者	防衛大学校	広瀬 佳一
討論者	金城学院大学（非常勤）	鈴木 規子
司会者	静岡県立大学	小久保康之

A - 6 / B - 6（連続） 安全保障 ・ （責任者：梅本哲也）

《大量破壊兵器の不拡散体制と国際秩序》

報告	「不拡散体制と国際秩序 国際立法 / 国内実施」	京都大学	浅田 正彦
報告	「不拡散体制と国際秩序 輸出管理 / 移転阻止」	拓殖大学	佐藤 丙午
報告	「不拡散体制と国際秩序 廃棄支援 / 資材回収」	日本国際問題研究所	秋山 信将
討論者		大阪大学	黒澤 満
討論者		桜美林大学	加藤 朗
討論者 / 司会者		静岡県立大学	梅本 哲也

A - 7 / B - 7（連続） 政策決定 ・ （責任者：飯倉 章）

《日露戦争をめぐる政策決定再考》

報告	「日露戦争は回避できたか 日本の日露開戦決定過程再考」	昭和女子大学	千葉 功
報告	「日露戦争は回避できたか 日露交渉におけるロシアの政策決定再考」	東京大学	和田 春樹
報告	「ポーツマス講和とアメリカ外交 ルーズヴェルトはどのような講和を望んだか」	日露戦争研究会	松村 正義
討論者		名城大学	稲葉 千晴
討論者		京都大学	奈良岡聡智
司会者		城西国際大学	飯倉 章

A - 8 / B - 8（連続） 国際交流（責任者：川村陶子）

《市民社会の変化と国際関係：アジア3カ国の事例研究》（仮題）

報告	「カンボジアの市民社会形成：外国援助とローカルNGO」	桜美林大学	牧田 東一
報告	「フィリピンの市民社会言説：二分化のNGOs」	清泉女子大学	鈴木 直喜
報告	「市民社会の政治 - 韓国教会の政治的参加の事例から」	中京大学	金 敬黙
討論者	日本貿易振興機構アジア経済研究所		重富 真一
司会者	東京大学		遠藤 貢

B - 9 ロシア・東欧 (責任者：宮崎英隆)

- 報告 「スターリン後のソ連核開発 ソ連邦中型機械製造省の成立」  
博士課程修了 片桐 俊浩
- 報告 「独立後のウズベキスタンにおける行政府と議会」  
北海道大学大学院 須田 将
- 報告 「中東欧における原子力関連施設の安全確保 - 保安から安全確保へ - 」  
慶応大学大学院 中林 啓修
- 討論者 防衛研究所 兵頭 慎治
- 討論者 慶応義塾大学 稲垣 文昭
- 討論者 防衛大学校 宮坂 直史
- 司会者 東海大学 宮崎 英隆

B - 10 国際政治経済 (責任者：大矢根聡)

- 報告 「冷戦後の国際社会観にみる国内的類推 帝国、統治、共同体」  
東京福祉大学 市川美南子
- 報告 「国際統治の部分システム化と正統性問題 なぜWTOの「立憲化」が必要か」  
静岡県立大学 伊藤 一頼
- 報告 「国際金融制度の定量的研究と金融システムの経路依存性」  
文京学院大学 岡本 至
- 討論者 東京大学 城山 英明
- 討論者 京都大学 鈴木 基史
- 司会者 同志社大学 大矢根 聡

10月14日(土)

50周年記念セッション・分科会セッションC (13:00~14:30)

C - 1 東アジア国際政治史 (責任者：川島真)

Moderator : Akira Ishii ( University of Tokyo )

Speakers : Urara Shimizu ( Kokushikan University )

“Future Challenges and Themes in the Field of ROC-Japanese Diplomatic History in Japan”

Philip Yang ( Yong-Ming Yang ) ( National Taiwan University )

“ROC-Japanese Studies from the Perspective of International Relations”

Discussants : Yasuhiro Matsuda ( National Institute for Defense Studies )

Shin Kawashima ( Hokkaido University )

C - 2 欧州国際政治史・欧州研究（責任者：森井裕一）

Moderator：Yuichi Morii（University of Tokyo）

Speaker：Frank Schimmelfennig（ETH Zuerich）

“EU Enlargement and Democracy Promotion in Eastern Europe: Strategic Action  
in an International Community”

Discussant：Atsuko Higashino（Hiroshima City University）

C - 3 アメリカ政治外交（責任者：滝田賢治）

《Prospect of the US-China Relations in the 21<sup>st</sup> Century》

Moderator /Discussant：Seiichiro Takagi（Aoyamagakuin University）

Speakers：Kerry Dumbaugh（Congressional Research Service, Library of Congress, USA）

Jia Qingguo（Beijin University, China）

Discussants：Tsuneo Watanabe（Mitsui Global Strategic Studies Institute）

Kenji Takita（Chuo University）

C - 4 東アジア（責任者：平岩俊司）(Working language：Japanese)

Moderator /Discussant：Masao Okonogi（Keio University）

Speakers：Huji Zhao（Party School of the Central Committee of the Communist Party of  
China, China）“The Structural Crises and the Survival Strategies of North  
Korea on Chinese Perspective”

Jaekuk Chang（Dongseo University, Korea）

Discussant：TBA

C - 5 中東（責任者：北澤義之）

《The Middle East Peace and the Rise of Islamism》

Moderator：Takayuki Yokota（Japan Institute of International Affairs）

Speakers：Ryoji Tateyama（National Defense Academy）

“Japan's International Relations and Involvement in the Middle East Peace”

Azzam Tamimi（Institute of Islamic Political Thought, London）

“The Rise of Hamas and the New Dimension of the Palestine Politics”

Akira Usuki（Japan Women's University）

“The Identity Politics in Israel and Ideologic Prospects on Peace”

Discussants：Kamil Abu Jaber（Former Foreign Minister of Jordan）

Yasushi Kosugi（Kyoto University）

C - 6 ラテンアメリカ（責任者：恒川恵市）

《New “Leftist” Politics in Latin America：Does It Make Difference?》

Moderator：Keiichi Tsunekawa（University of Tokyo）

Speakers : Enrique Peruzzotti ( Universidad Torcuato Di Tella )  
“The Case of Kirchner Government in Argentina”  
Kotaro Horisaka ( Sophia University ) “The Case of Lula Government in Brazil”  
Hisanori Futamura ( Nagoya University )  
“The Case of Hugo Chavez Government in Venezuela”  
Discussant : Naoya Izuoka ( Keio University )

C - 7 アフリカ ( 責任者 : 片岡貞治 )  
《Proxy War in Africa and the Consolidation of Peace》  
Moderator : Sadaharu Kataoka ( Waseda University )  
Speaker : Gerard Prunier ( French Center for the Ethiopian Studies )  
“Rebel Movements and Proxy Warfare in Africa”  
Discussant : Ayaki Ito ( WFP Japan Office )

C - 8 理論と方法 ( 責任者 : 飯田敬輔 )  
《Rational Choice in IR : Where Is It Going?》  
Moderator : Yoshinobu Yamamoto ( Aoyama Gakuin University )  
Speakers : James Fearon ( Stanford University ) “Rational Choice in War and Peace”  
Barbara Koremenos ( University of Michigan ) “Rational Institutionalism”  
Discussant : Atsushi Ishida ( University of Tokyo )

C - 9 国際統合 ( 責任者 : 小久保康之 )  
Moderator : Takako Ueta ( ICU )  
Speakers : Stephan Keukeleire ( Leuven Catholic University )  
“A Historical Overview of the Development of EU Foreign Policy” ( tentative )  
Tutomu Kikuchi ( Aoyama Gakuin University )  
“Competing Approaches to East Asian Regionalism” ( tentative )

C - 10 国際政治経済 ( 責任者 : 大矢根聡 )  
《The Prospects for Future Regional Cooperation in Asia》  
Moderator : Takahiro Yamada ( Tokyo Metropolitan University )  
Speakers : Vinod K. Aggarwal ( University of California at Berkeley )  
“Asia's New Institutional Architecture”  
Kun-Chin Lin ( National University of Singapore ) and Brad Williams ( National University of Singapore )  
“Pipeline Politics : Sino-Japanese Competition for Russian Energy Resources”

C - 1 1 政策決定 (責任者: 飯倉 章)

《Reexamining the Decision-Making Process in the Russo-Japanese War : Part Two》

Moderator : Chiharu Inaba ( Meijo University )

Speakers : Ian H. Nish ( London School of Economics and Political Science )

“Could the Russo-Japanese War Have Been Prevented by British Diplomacy”

Lee Sung-Hwan ( Keimyung University )

“The Russo-Japanese War and the Limits of Korean Decision-Making”

Discussants : Ryoju Sakurai ( Reitaku University )

Akira Iikura ( Josai International University )

C - 1 2 国際交流 (責任者: 川村陶子)

《Cultural Investigations in International Relations》

Moderator : Junko Tomaru (Sophia University)

Speakers : Morten Valbjørn ( Ph.D.-Scholar, University of Aarhus )

“Before, During and After the Cultural Turn – A ‘Baedeker’ to IR’s Cultural Journey”

Yoko Kawamura ( Seikei University )

“The Study and Practice of International Cultural Relations : A Japanese Approach to International Relations”

Discussant : Satoshi Miura ( Toyo University )

10月15日(日)

分科会セッションD (9:30~11:00) / セッションE (11:15~12:45)

D - 1 / E - 1 (連続) アメリカ政治外交 ・ (責任者: 滝田賢治)

[ ]

書 評 黒崎輝 『核兵器と日米関係』(有志舎、2006年3月)

討論者 拓殖大学 佐藤 丙午

討論者 日本国際問題研究所 秋山 信将

討論者 / 司会者 東洋英和女学院大学 増田 弘

[ ]

報 告 「ウィルソン外交と日本」 京都産業大学 高原 秀介

報 告 「20世紀初頭の西半球におけるアメリカ介入主義の論理」  
上智大学(非常勤) 草野 大希

討論者 広島市立大学 上村 直樹

討論者 大阪外国語大学 中嶋 啓雄

討論者 / 司会者 愛知学院大学 草間秀三郎

D - 2 安全保障（責任者：梅本哲也）

報告 「国際平和活動における多様な支援主体としての役割と相互関係の考察  
アフガニスタンにおける地方復興チームを事例として」

広島大学 上杉 勇司

報告 「日本に『シビル・ミリタリーギャップ』は存在するか？  
文民エリート意識調査の分析」

自衛官・  
防衛大学校 彦谷 貴子

討論者 関西学院大学 望月 康恵

討論者 / 司会者 中京大学 佐道 明広

E - 2 安全保障（責任者：梅本哲也）

報告 「国際関与としての協調的脅威削減と国家主権 ロシアにおける  
化学兵器の廃棄・管理を中心に」

青山学院大学大学院 岡田 美保

報告 「ブレアと欧州安全保障政策（ESDP）の展開」

明治学院大学大学院 片木 啓太

討論者 慶応義塾大学 細谷 雄一

討論者 / 司会者 京都産業大学 河原地英武

D - 3 / E - 3（連続） トランスナショナル ・ （責任者：関根政美）

《越境するシチズンシップと多文化主義》

報告 「多文化的に取り締まる ネオリベラル多文化主義におけるセキュリ  
ティと社会的排除」

日本学術振興会特別研究員 塩原 良和

報告 「ポストナショナル / ポスト『リベラル』のシチズンシップにおける  
包摂と排除 『帝国』としてのEUの事例から」

日本学術振興会特別研究員 山崎 望

報告 「シチズンシップと境界を越える民主主義」

日本学術振興会特別研究員 五野井郁夫

討論者 中央大学 川原 彰

司会者 慶応大学 関根 政美

D - 4 東アジア（責任者：平岩俊司）

報告 「国際関係理論の構築における中国の視野 理論の『本土化』の問題を  
中心として」

淑徳大学（非常勤） 王 平

報告 「米韓同盟の再編と盧武鉉政権の外交安保構想」（仮題）

広島国際学院大学 奥園 秀樹

討論者 静岡大学 中本 義彦

討論者 韓国東西大学 張 済国

討論者 / 司会者 静岡県立大学 星野 昌裕

D - 5 東南アジア（責任者：須藤季夫）

報告 「アジア地域レジーム形成の政治経済要因」

報告 「タイ外交」(予定)

外務省 田中 紀子  
新潟国際情報大学 高橋 正樹  
南山大学 須藤 季夫

討論者 / 司会者

D - 6 国際政治経済（責任者：大矢根聡）

報告 「食品問題をめぐる日本国内の政治過程 遺伝子組み換え食品と  
BSE問題を事例として」 青山学院大学大学院 伊藤 丈人

報告 「国際制度の形成と民間企業 TRIPS（知的財産権）協定の  
締結をめぐる日米欧企業間の協力」 東京大学大学院 西村もも子

討論者 一橋大学 山田 敦  
司会者 筑波大学 赤根谷達雄

D - 7 国連研究（責任者：則武輝幸）

報告 未定  
討論者 未定  
司会者 未定

E - 4 ロシア・東欧（責任者：宮崎英隆）

報告 「ソ連崩壊と集团的アクター 軍隊・反対政党・民族共和国」  
明治大学（非常勤） 笹岡 伸矢

報告 「『現地時間』：ソ連崩壊後のサハリン州から見た1956年日ソ共同宣言」  
国土館大学 ジンベルグ、ヤコブ

討論者 上智大学 上野 俊彦  
討論者 新潟国際情報大学 小澤 治子  
司会者 鈴鹿国際大学 中野 潤三

E - 5 政策決定 / 理論と方法（合同）(責任者：飯倉 章 / 飯田 敬輔)

《国際政治における複雑性理論 ロバート・ジャービスの世界》

報告 「複雑性理論 相互連関と意図されない結果」 武蔵野大学 荒木 義修

報告 「ウォルツのシステミック理論の脆弱性 ジャービス的観点からの  
再考」 関西外国語大学 酒井 英一

報告 「ジャービスのシステム理論 同盟研究と方法論に与える示唆」  
神戸女学院大学 泉川 泰博

討論者 青山学院大学 太田 宏  
司会者 城西国際大学 飯倉 章

E - 6 平和研究（責任者：佐藤幸男）

- 報 告 「そふと・ぷわあ考」 東京大学 芝崎 厚士  
報 告 「モロッコ独立とフランス」 一橋大学大学院 池田 亮  
報 告 「日本における『グローバルな市民社会』の思想：矢内原忠雄の  
『植民』概念を読む」 南山大学 中野 涼子  
討論者 / 司会者 富山大学 佐藤 幸男

E - 7 ジェンダー（責任者：竹中千春）

《グローバリゼーションの中の市民・女性・移民》

- 報 告 「女性にとってのヨーロッパ・ムスリム・市民アイデンティティの問題化  
フランスにおけるムスリム市民運動団体『政治参加するフランス  
女性ムスリム FFME』の活動」 立教大学 浪岡新太郎  
報 告 「東中欧におけるジェンダー問題の政治化と国際組織 市民社会組織を  
媒介に」 東京外国語大学（非常勤） 中田 瑞穂  
討論者 中部大学 羽後 静子  
司会者 明治学院大学 竹中 千春



## **Oct. 13th (Fri.)**

**Panels** (13 : 00 ~ 15 : 30)

### **Panel 1: US Alliance Diplomacy in the Cold War**

Moderator: Naoki Kamimura (Hiroshima City University)

Speakers:

Itsuki Kurashina (Akita International University) “The German Problem as an Alliance Problem” (tentative)

Yuko Ito (Asia University) “Marcos, US-Philippines Relations, and the Vietnam War”

Satoru Mori (Ph.D. Candidate, University of Tokyo) “The Vietnam War and Anglo-American Relations”

Discussant: Koji Terachi (Kyoritsu Women's University)

### **Panel 2: China and India in Multilateral Institutions**

Moderator: Satoshi Amako (Waseda University)

Speakers:

Motohiro Tsuchiya (Keio University) “Chinese Diplomacy for the Internet Governance at the World Summit on the Information Society (WSIS)”

Fujio Kawashima (Nagoya University) “Multilateral Trading System for Chinese Foreign Economic Policy: Focusing on development after the Accession to the WTO”

Chiharu Takenaka (Meiji Gakuin University) “Indian Diplomacy in a Multilateral Asia”

Discussant: Takahiko Tanaka (Hitotsubashi University)

### **Panel 3: Comparative Perspective of the “Peace Processes”**

Moderator & Discussant: Yuichi Hosoya (Keio University)

Speakers:

Chie Ezaki (Embassy of Japan, Jordan) “Political Process in the Israeli-Palestinian Negotiation”

Kumiko Makino (Institute of Developing Economies, JETRO) “Rethinking Power-Sharing in South Africa”

Junko Bunda (Tsuru University) “Rebuilding of Divided Society and Communal Rights in Northern Ireland”

## **Section Panels**

**Section Panel A** (15 : 45 ~ 17 : 15) / **Section Panel B** (17 : 30 ~ 19 : 30)

**A - 1 / B - 1** Japan's Diplomatic History I, II

《Japan's Diplomatic History and the Disclosure of Records 》 (tentative)

Moderator: Sumio Hatano (University of Tsukuba)

Speakers:

Hiroyuki Yamaya (Ministry of Foreign Affairs) “Diplomatic Records and Information Disclosure” (tentative)

Kunihiro Haraguchi (Chuo University) “Systematic Disclosure of Postwar Diplomatic Records: Its Retrospect and Prospect” (tentative)

Akira Kurosaki (Obirin University) “Potentials and Limits of the Japanese Information Disclosure Law in Conducting Historical Research on Postwar Japan-U.S. Relations” (tentative)

Pan Liang (University of Tsukuba) “The Use of Japanese, American and British Archival Sources in Studies of Japan's Multilateral Diplomacy” (tentative)

Taizo Miyagi (National Graduate Institute for Policy Studies) “The Feature of Japanese Diplomatic Document, Value and Limit: In Comparison with US, UK and Australia.”

Discussant: Yasuko Kouno (Hosei University)

**A - 2 / B - 2** European Studies I, II

[I] (A - 2)

Moderator: Yuichi Morii (University of Tokyo)

Speaker: Gunther Hellmann (Universität Frankfurt) “Germany and the Future of the EU: Still the ‘Motor’ of European Integration?”

Discussant: Shuichi Kawashima (Meiji University)

[II] (B - 2)

Moderator: Yuichi Morii (University of Tokyo)

Speakers:

Ken Nannichi (Ph.D. Candidate, King’s College London) “British Official Responses to the Transformation of Federal German Ostpolitik /Deutschlandpolitik, 1963-1972”

Toshiya Nakamura (Siebold University of Nagasaki) “Transformation of German Policy for Out-of-Area Operations”

Discussants: Kunihiro Wakamatsu (Tokyo University of Foreign Studies)

Yoko Iwama (National Graduate Institute for Policy Studies)

**A - 3 / B - 3** US Politics and Foreign Policy I, II

《BRICs and the United States》

Moderator: Kenji Takita (Chuo University)

Speakers:

Akiko Koyasu (Kanda University of International Studies) “BRICs and the United States: Brazil”

Motohide Saito (Kyorin University) “BRICs and the United States: Russia”

Takenori Horimoto (Shobi University) “BRICs and the United States: India”

Emi Mifune (Komazawa University) “BRICs and the United States: China”

Discussants: Katsuya Suzuki (Ministry of Foreign Affairs)

Toru Takanarita (Asahi Shimbun)

**A - 4 Theory and Methods I**

Moderator /Discussant: Keisuke Iida (Aoyama Gakuin University)

Speakers:

Hiroshi Katsumata (Institute of Defence and Strategic Studies, Singapore) “Alliance between Constructivists and Rationalists: Can IR Theory Contribute to Policy?”

Ayumi Moriyama (Doctoral Student, Chuo University) “Rethinking IR Theory: From the Perspective of Actors for Analysis”

Tomoki Furukawazono (Graduate Student, Keio University) “The International Political System as Networks”

**B - 4 Theory and Methods II**

《Multi-Agent Simulation and IR》

Moderator: Akihiko Tanaka (University of Tokyo)

Speakers:

Norichika Kanie (Tokyo Institute of Technology) “The Possibility of Building International Regime for Global Warming Control”

Jyunichi Hirano (Doctoral Student, Kobe University) “A Multi-Agent Model of Democratization”

Katsuma Mitsutsuji (University of Tokyo) • Takuto Sakamoto (University of Tokyo) • Susumu Yamakage (University of Tokyo) “Fusion and Fission in the International System”

Discussant: Hayward R. Alker (University of Southern California)

**A - 5 / B - 5 International Integration**

Moderator: Yasuyuki Kokubo (University of Shizuoka)

Speakers:

Michito Tsuruoka (Embassy of Japan in Belgium/ King’s College London) “Disaster Response in the Transformation of NATO: The Case of NATO’s Relief Operation in Pakistan”

Takako Ueta (ICU) “Development of the ESDP Operations”

Machiko Hachiya (Kyushu University) “Constructing Europe on ‘Secularism’ ” (tentative)

Discussants: Yoshikazu Hirose (NDA)

Noriko Suzuki (Kinjogakuin University)

**A - 6 / B - 6 International Security I, II**

《WMD Nonproliferation and the International Order》

Moderator /Discussant: Umemoto Tetsuya (Shizuoka Kenritsu University)

Speakers:

Asada Masahiko (Kyoto University) “WMD Nonproliferation and the International Order: UNSCR1540 and Beyond”

Sato Heigo (Takushoku University) “WMD Nonproliferation and the International Order:  
Export Control and PSI”

Akiyama Nobumasa (Japan Institute of International Affairs) “WMD Nonproliferation and  
the International Order: CTR and GTR”

Discussants: Kurosawa Mitsuru (Osaka University)

Kato Akira (Obirin University)

#### **A - 7 / B - 7** Decision-Making I, II

《Reexamining the Decision-Making Process in the Russo-Japanese War: Part One》

Moderator: Akira Ikura (Josai International University)

Speakers:

Isao Chiba (Showa Women’s University) “Could the Russo-Japanese War Have Been  
Evaded?: Reexamining the Japanese Decision-Making Process to go to War with Russia”

Haruki Wada (University of Tokyo) “Could the Russo-Japanese War Have Been Evaded?:  
Reexamining the Russian Decision-Making Process during the Negotiations with Japan”

Masayoshi Matsumura (Russo-Japanese War Association) “The Portsmouth Peace  
Conference and American Diplomacy: What Was the Desirable Peace for Theodore  
Roosevelt?”

Discussant: Chiharu Inaba (Meijo University)

Sochi Naraoka (Kyoto University)

#### **A - 8 / B - 8** International Exchange

《The Change of Civil Society and International Relations: Case Studies of 3 Asian Countries 》  
(tentative)

Moderator: Mitsugi Endo (University of Tokyo)

Speakers:

Toichi Makita (Obirin University) “The Creation of Civil Society in Cambodia: Foreign  
Aid and Local NGOs”

Naoki Suzuki (Seisen University) “The Discourse of Civil Society in the Philippines:  
Dichotomizing NGOs”

Kim Kyungmook (Chukyo University) “Politics of Civil Society: How Korean Churches  
Influence Politics?”

Discussant: Shinichi Shigetomi (Institute of Developing Economies)

#### **B - 9** Russian and East European Studies I

Moderator: Hidetaka Miyazaki (Tokai University)

Speakers:

Toshihiro Katagiri (Postdoctoral) “The Soviet Nuclear Development in the Post-Stalin Era:  
Formation of the USSR Ministry of Medium Machine Building”

Masaru Suda (Doctoral Student, Hokkaido University) “The Executive and the Legislative

of Post-independent Uzbekistan”

Hironobu Nakabayashi (Doctoral Student, Keio University) “Ensuring Safety of Nuclear Facilities in Central and Eastern Europe: From Disaster Prevention to Physical Protection”

Discussants: Shinji Hyodo (National Institute for Defense Studies)

Fumiaki Inagaki (Keio Research Institute at SFC)

Naofumi Miyasaka (National Defense Academy)

## **B - 10** International Political Economy I

Moderator: Satoshi Oyane (Doshisha University)

Speakers:

Minako Ichikawa (Tokyo University of Social Welfare) “‘Domestic Analogy’ in the Post-Cold War Era: Empire, Governance, and Community”

Kazuyori Ito (University of Shizuoka) “The Problem of Legitimacy in Emerging Global Subsystems : The Case for the ‘Constitutionalization’ of the WTO”

Itaru Okatomo (Bunkyo Gakuin University) “Quantitative Research Method and Path-dependence of International Financial System”

Discussant: Hideaki Shiroyama (Tokyo University)

Motoshi Suzuki (Kyoto University)

## **Oct. 14th (Sat.)**

**Special Panels** (9 : 30 ~ 12 : 00)

**Special Panel 1:** Roundtable “New Trends in International Relations Studies”

Moderator: Yoshinobu Yamamoto (Aoyamagakuin University)

Panelists:

J. Ann Tickner (University of Southern California, President, ISA)

William Thompson (Indiana University, Former President, ISA)

Kim, Hyung Kook (Joongang University, President, KAIS)

Nobuo Shimotomai (Hosei University)

**Special Panel 2:** The Cold War and Social Changes

Moderator: Takahiko Tanaka (Hitotsubashi University)

Speakers:

Emily Rosenberg (Macalester College) “The Cold War and the American Society”  
(tentative)

Vladimir Pozniakov (Russian Academy of Science) “The Cold War and Russian Society”  
(tentative)

Mariko Maeda (Hitotsubashi University) “The Cold War and Gender” (tentative)

Discussants: TBA

**Special Panel 3: Deepening Interdependence and Security in East Asia**

Moderator: Go Ito (Meiji University)

Speakers:

Robert Ross (Boston University) “Legacy or Its Remnants?: Traditional Security Issues in East Asia”

Amitav Acharya (Nanyang University) “How Serious Have Been New Ideas?: Emerging Cooperative Security Frameworks in East Asia”

Chikako Kawakatsu (National Institute for Defense Studies) “Is Japan Pouring Cold Water?: Japan’s Perspectives toward the ‘Hot Economies, Cold Politics’”

Discussants: Yoshihide Soeya (Keio University)

Zhu Feng (Beijing University)

**Special Panel 4: “‘Globalism, Regionalism, and Nationalism’ Revisited”**

Moderator: Ken Endo (Hokkaido University)

Speakers:

Julie Smith (Cambridge University) “EU in Global Politics”

Hideo Shinoda (Hiroshima University) “Nation-States, Peace-Building and Global Society”

Ting Wai (Hong Kong Baptist University) “Chinese Nationalism and East Asian Regionalism”

Discussant: Kazuto Suzuki (Tsukuba University)

**Lunch** (12 : 00 ~ 13 : 00)

**Special Section Panels**

**Special Section Panel C** (13 : 00 ~ 14 : 30)

**C - 1** International History in East Asia

Moderator: Akira Ishii (University of Tokyo)

Speakers:

Urara Shimizu (Kokushikan University) “Future Challenges and Themes in the Field of ROC-Japanese Diplomatic History in Japan”

Philip Yang (Yong-Ming Yang) (National Taiwan University) “ROC-Japanese Studies from the Perspective of International Relations”

Discussants: Yasuhiro Matsuda (National Institute for Defense Studies)

Shin Kawashima (Hokkaido University)

**C - 2** European Studies

Moderator: Yuichi Morii (University of Tokyo)

Speaker: Frank Schimmelfennig (ETH Zuerich) “EU Enlargement and Democracy Promotion in Eastern Europe: Strategic Action in an International Community”

Discussant: Atsuko Higashino (Hiroshima City University)

**C - 3 US Politics and Foreign Policy**

《Prospect of the US-China Relations in the 21<sup>st</sup> Century》

Moderator /Discussant: Seiichiro Takagi (Aoyamagakuin University)

Speakers:

Kerry Dumbaugh (Congressional Research Service, Library of Congress, USA)

Jia Qingguo (Beijin University, China)

Discussants: Tsuneo Watanabe (Mitsui Global Strategic Studies Institute)

Kenji Takita (Chuo University)

**C - 4 East Asian Studies (Working language: Japanese)**

Moderator /Discussant: Masao Okonogi (Keio University)

Speakers:

Huji Zhao (Party School of the Central Committee of the Communist Party of China, China) “The Structural Crises and the Survival Strategies of North Korea on Chinese Perspective”

Jaekuk Chang (Dongseo University, Korea)

Discussant: TBA

**C - 5 Middle Eastern Studies**

《The Middle East Peace and the Rise of Islamism》

Moderator: Takayuki Yokota (Japan Institute of International Affairs)

Speakers:

Ryoji Tateyama (National Defense Academy) “Japan's International Relations and Involvement in the Middle East Peace”

Azzam Tamimi (Institute of Islamic Political Thought, London) “The Rise of Hamas and the New Dimension of the Palestine Politics”

Akira Usuki (Japan Women's University) “The Identity Politics in Israel and Ideologic Prospects on Peace”

Discussants: Kamil Abu Jaber (Former Foreign Minister of Jordan)

Yasushi Kosugi (Kyoto University)

**C - 6 Latin American Studies**

《New “Leftist” Politics in Latin America: Does It Make Difference?》

Moderator: Keiichi Tsunekawa (University of Tokyo)

Speakers:

Enrique Peruzzotti (Universidad Torcuato Di Tella) “The Case of Kirchner Government in Argentina”

Kotaro Horisaka (Sophia University) “The Case of Lula Government in Brazil”

Hisanori Futamura (Nagoya University) “The Case of Hugo Chavez Government in Venezuela”

Discussant: Naoya Izuoka (Keio University)

**C - 7 African Studies**

《Proxy War in Africa and the Consolidation of Peace》

Moderator: Sadaharu Kataoka (Waseda University)

Speaker: Gerard Prunier (French Center for the Ethiopian Studies) “Rebel Movements and Proxy Warfare in Africa”

Discussant: Ayaki Ito (WFP Japan Office)

**C - 8 Theory and Methods**

《Rational Choice in IR: Where Is It Going?》

Moderator: Yoshinobu Yamamoto (Aoyama Gakuin University)

Speakers:

James Fearon (Stanford University) “Rational Choice in War and Peace”

Barbara Koremenos (University of Michigan) “Rational Institutionalism”

Discussant: Atsushi Ishida (University of Tokyo)

**C - 9 International Integration**

Moderator: Takako Ueta (ICU)

Speakers:

Stephan Keukeleire (Leuven Catholic University) “A Historical Overview of the Development of EU Foreign Policy” (tentative)

Tsutomu Kikuchi (Aoyama Gakuin University) “Competing Approaches to East Asian Regionalism” (tentative)

**C - 10 International Political Economy**

《The Prospects for Future Regional Cooperation in Asia》

Moderator: Takahiro Yamada (Tokyo Metropolitan University)

Speakers:

Vinod K. Aggarwal (University of California at Berkeley) “Asia's New Institutional Architecture”

Kun-Chin Lin (National University of Singapore) and Brad Williams (National University of Singapore) “Pipeline Politics: Sino-Japanese Competition for Russian Energy Resources”

**C - 11 Decision-Making**

《Reexamining the Decision-Making Process in the Russo-Japanese War: Part Two》

Moderator: Chiharu Inaba (Meijo University)



Speakers:

Ian H. Nish (London School of Economics and Political Science) “Could the Russo-Japanese War Have Been Prevented by British Diplomacy”

Lee Sung-Hwan (Keimyung University) “The Russo-Japanese War and the Limits of Korean Decision-Making”

Discussants: Ryoju Sakurai (Reitaku University)

Akira Iikura (Josai International University)

**C - 12** International Exchange

《Cultural Investigations in International Relations》

Moderator: Junko Tomaru (Sophia University)

Speakers:

Morten Valbjørn (Ph.D.-Scholar, University of Aarhus) “Before, During and After the Cultural Turn – A ‘Baedeker’ to IR’s Cultural Journey”

Yoko Kawamura (Seikei University) “The Study and Practice of International Cultural Relations: A Japanese Approach to International Relations”

Discussant: Satoshi Miura (Toyo University)

**Annual Plenary Meeting of the JAIR** (14 : 30 ~ 15 : 00)

**Keynote Address** (15 : 00 ~ 16 : 00)

Moderator: Lee Jong Won (Rikkyo University)

Welcoming Speech: Ryo Oshiba (President, JAIR)

Speaker: Sadako Ogata (President, JICA)

“International Relations in a New Era: Cooperation and Conflict”

**International Symposium** (16 : 00 ~ 18 : 30)

“International Relations in a New Era: From Regional and Global Perspectives”

Moderator: Akihiko Tanaka (University of Tokyo)

Panelists: Sadako Ogata (President, JICA)

J. Ikenberry (Princeton University)

Han Sung-Joo (Professor Emeritus, Korea University, Former Foreign Minister of the Republic of Korea)

B. Geremek (Member of European Parliament, Former Foreign Affairs Minister of Poland)

Kamel Abu Jaber (President, The Jordan Institute of Diplomacy, Former Foreign Minister of Jordan)

**Reception** (18 : 45 ~ 20 : 30)

## **Oct. 15th (Sun.)**

### **Section Panels**

**Section Panel D** (9 : 30 ~ 11 : 00) / **Section Panel E** (11 : 15 ~ 12 : 45)

**D - 1 / E - 1** US Politics and Foreign Policy III, IV

[III]

Moderator /Discussant: Hiroshi Masuda (Toyo Eiwa University)

Book Review: Akira Kurosaki, *Nuclear Weapons in the Context of US-Japan Relations*

(Yushisha Publishing Company, 2006)

Discussants: Heigo Sato (Takushoku University)

Nobumasa Akiyama (Japan Institute of International Affairs)

[IV]

Moderator /Discussant: Shuzaburo Kusama (Aichigakuin University)

Speakers:

Shusuke Takahara (Kyoto Sangyo University) “Wilson Diplomacy Reconsidered:  
The Case of Politics toward Japan”

Hiroki Kusano (Sophia University) “Logic of Intervention by the United States in Latin  
America at the Beginning of the 20th Century”

Discussants: Naoki Kamimura (Hiroshima City University)

Hiroo Nakajima (Osaka University of Foreign Studies)

**D - 2** International Security III

Moderator /Discussant: Sado Akihiro (Chukyo University)

Speakers:

Uesugi Yuji (Hiroshima University) “PRT in Afghanistan: An Emerging Model for  
International Peace Operations”

Hikotani Takako (National Defense Academy) “Is There a Civil-Military Gap in Japan?”

Discussant: Mochizuki Yasue (Kwansei Gakuin University)

**E - 2** International Security IV

Moderator /Discussant: Kawaraji Hidetake (Kyoto Sangyo University)

Speakers:

Okada Miho (Graduate student, Aoyama Gakuin University) “CTR and State Sovereignty:  
Dismantlement of Chemical Weapons in Russia”

Katagi Keita (Graduate student, Meiji Gakuin University) “The Blair Initiative and the  
ESDP”

Discussant: Hosoya Yuichi (Keio University)

**D - 3 / E - 3** Transnational Relations I, II

《Transboundary Citizenship and Multiculturalism》

Moderator: Masami Sekine (Keio University)

Speakers:

Yoshikazu Shiobara (Japan Society for the Promotion of Science) “Policing Multiculturally: Security and Social Exclusion in Neo-Liberal Multiculturalism”

Nozomu Yamazaki (Japan Society for the Promotion of Science) “Inclusion and Exclusion in Postnational / Post ‘liberal’ Citizenship: The Case of EU as ‘Empire’”

Ikuo Gono (Japan Society for the Promotion of Science) “Citizenship and Democracy beyond Borders”

Discussant: Akira Kawahara (Chuo University)

#### **D - 4 East Asian Studies**

Moderator /Discussant: Masahiro Hoshino (University of Shizuoka)

Speakers:

Wang Ping (Shukutoku University) “View in China of Constructing International Relations”

Hideki Okuzono (Hiroshima Kokusai Gakuin University) “Realignment of the US-ROK Alliance and the Roh Moo-hyun Administration's Security Vision”

Discussants: Yoshihiko Nakamoto (Shizuoka University)

Jekuk Chang (Dongseo University)

#### **D - 5 Southeast Asian Studies**

Moderator /Discussant: Sueo Sudo (Nanzan University)

Speakers:

Noriko Tanaka (Foreign Ministry of Japan) “Political and Economic Factors for a Regional Regime in Asia”

Masaki Takahashi (Niigata University of International and Information Studies) “Thai Foreign Policy”

#### **D - 6 International Political Economy II**

Moderator: Tatsuo Akaneya (Tsukuba University)

Speakers:

Takehito Ito (Graduate Student, Aoyama Gakuin University) “The Analysis on Japanese Response to the Issues of International Food Safety: As the Cases of ‘Political Economy of Risk’”

Momoko Nishimura (Graduate Student, University of Tokyo) “International Institutions and Private Firms: TRIPs Negotiations and the Cooperation among the Japanese, U. S. and European Firms”

Discussant: Atsushi Yamada (Hitotsubashi University)

**D - 7** United Nations Studies

Moderator: TBA

Speakers: TBA

Discussant: TBA

**E - 4** Russian and East European Studies II

Moderator: Junzo Nakano (Suzuka International University)

Speakers:

Shinya Sasaoka (Meiji University) “Demise of the Soviet Union and Collective Actors, 1985-1991: The Military, Opposition Parties and Constituent Republics”

Yakov Zinberg (Kokushikan University) “THE LOCAL TIME: Post-Soviet Vision of the 1956 Soviet-Japanese Declaration at the Sakhalin Regional Duma”

Discussants: Toshihiko Ueno (Sophia University)

Haruko Ozawa (Niigata University of International and Information Studies)

**E - 5** Decision-Making / Theory and Methods (Joint Session)

《Complexity Theory in International Politics: Robert Jervis’s World》

Moderator: Akira Iikura (Josai International University)

Speakers:

Yosinobu Araki (Musashino University) “Complexity Theory: Interconnections and Unintended Consequences”

Hidekazu Sakai (Kansai Gaidai University) “The Vulnerability of Waltz’s Systemic Theory: A Critical Reexamination from Jervis’s Perspective”

Yasuhiro Izumikawa (Kobe College) “Robert Jervis’s ‘System Effects’”: Methodological Implications for Analyzing Alliances”

Discussant: Hiroshi Ota (Aoyama Gakuin University)

**E - 6** Peace Studies

Moderator /Discussant: Yukio Sato (University of Toyama)

Speakers:

Atsushi Shibasaki (University of Tokyo) “A Study of Soft Power”

Ryo Ikeda (Graduate Student, Hitotsubashi University) “The French Decision on Morocco’s Independence”

Ryoko Nakano (Nanzan University) “Global Civil Society in Japan”

**E - 7** Gender Studies

《Citizens, Women and Immigrants in Globalizing World》

Moderator: Chiharu Takenaka (Meiji Gakuin University)

Speakers:

Shintaro Namioka (Rikkyo University) “The European Citizenship Identity of French

Muslim Women: Activity of the Muslim Civic Movement Group, French Muslim Women Who Participate into Politics”

Mizuho Nakada-Amiya (Tokyo University of Foreign Studies) “The Politicization of Gender in East-Central Europe: The Role of Civil Society Organizations at the Domestic-international Nexus”

Discussant: Seiko Hanochi (Chubu University)

**Panels** (14 : 00 ~ 16 : 30)

**Panel 4:** The Tide for Global Governance: Landmines, Environment and Gender

Moderator: Mariko Shoji (Keiai University)

Speakers:

Makiko Nishitani (Kobe University) “The Norm Cascade in the Case of Ban on Landmines”

Seiichiro Hasui (Ibaraki University) “Global Warming and Environmental Security”

Keiko Karube (St. Andrew's University) “The U.N. Regime and Gender: Building a Framework for Global Governance”

Discussants: Seiji Endo (Seikei University)

Isao Sakaguchi (Gakushuin University)

**Panel 5:** Transition of International System in East Asia

Moderator: Shin Kawashima (Hokkaido University)

Speakers:

Yasunori Arano (Rikkyo University) “Early-modern Order in East Asia”

Toshio Motegi (Tokyo Women’s University) “Modern Realignment of Sinocentric Order”

Takao Kobayashi (Aichi Gakuin University) “The Transition of Britain and East Asian World”

Discussants: Takashi Okamoto (Kyoto Prefecture University)

Masashi Hiroshue (Rikkyo University)

**Panel 6:** Realism and War: Fifty Years after W.W.II.

Moderator: Yoshihiko Nakamoto (Shizuoka University)

Speakers:

Hiroyuki Tosa (Kobe University) “The New Phase of Japan Realism: The Social Construction Process of ‘Reality’ ”

Seiko Mimaki (Ph.D. Candidate, University of Tokyo) “Realism of the Twenty Year's Crisis: A Resonance with Pacifism”

Toru Oga (Ibaraki University) “Realists against Empire: From Power-politics to Power-ethics”

Discussants: Tetsuya Sakai (University of Tokyo)

Toshihiro Higuchi (Georgetown University)

**Panel 7:** Postwar Anglo-American Relationship: One 'Informal Empire' or Two?

Moderator: Yoichi Kibata (University of Tokyo)

Speakers:

Futoshi Shibayama (Aichi Gakuin University) "Anglo-American Commitment to the Defense of Turkey and the Origins of the Cold War, 1945-1946"

Yoichi Suzuki (Shimonoseki City University) "Southeast Asian Regional Cooperation and Anglo-American Cold War Strategies"

Asahiko Hanzawa (Meiji Gakuin University) "The UN and the Anglo-American 'Informal Empire'"

Discussants: Kiichi Fujiwara (University of Tokyo)

Saho Matsumoto (Nagoya City University)

**Panel 8:** Frontier of International Relations

Moderator: Masaru Hatano (Tokai University)

Speakers:

Tadahiro Fukuda (Graduated Student of Graduate School of Social Sciences, Waseda University) "The Revolutionary Movements in South Vietnam and U.S. Intervention (1954-61)"

Sachiko Hirakawa (Ph.D. Candidate, Waseda University) "Diplomatic Framework to Solve Two-China Dilemma: an Analysis on the Spreading Process of the 'Japanese Formula' in the 1970's"

Takeshi Osawa (Chuo University) "A Study on 'Sino-Japanese Nongovernmental Humanitarian Diplomacy' in 1950's"

Yuki Abe (Ph.D. Candidate, University of Sheffield) "The Social Construction of the Post-Cold War European Security: The Reorganizing of NATO through the Crisis Management in the Former Yugoslavia"

Discussants: Yoshikazu Hirose (National Defense Academy)

Takayuki Ogasawara (Yamanashigakuin University)

# 日本国際政治学会2006年度研究大会 参加のご案内

全国から「日本国際政治学会2006年度研究大会」に参加されます皆様の登録受付及び宿泊等の手配を、下記要領にて近畿日本ツーリスト(株)が担当させて頂くことになりました。

## 《登録》

宿泊・弁当が不要な方及び懇親会に欠席の方でも大会参加者は必ずご登録下さい。  
尚、大会参加費は事前にお支払いいただきますようお願い致します。

参加費	一般会員・非会員	¥3,000
	院生会員	無料
	院生非会員	¥1,000
懇親会参加費		¥7,000

## 《宿泊》取扱期間：10月13日(金)から2泊

コード	ホテル名	シングル	ツイン	アクセス
1	オークラアカデミアパークホテル	¥13,950 ツイン又はダブル の1人利用	¥21,500	ホテル：木更津駅車 15分 会場：隣接
2	ホテルロイヤルガーデン木更津	¥7,980		ホテル：木更津駅徒歩 3分 会場：車 15分
3	グランパークホテルエクセル木更津	¥8,190		ホテル：木更津駅徒歩 4分 会場：車 15分
4	グランパークホテルエクセル君津	¥8,190		ホテル：君津駅徒歩 2分 会場：車 25分

部屋タイプ S：シングル(1名利用) T：ツイン(2名利用)

オークラアカデミアパークのシングルにつきましてはツイン又はダブル(30㎡以上)の一人様利用となります。

オークラアカデミアパークホテルにつきましてはインターネット使用可能なお部屋をご用意しております。部屋数に限りがございますのでお早めに申し込みください。

料金は1泊朝食付、サービス料込み、税金込みの料金です。

前後泊等ご希望の方は、申込書備考欄にその旨ご記入下さい。受付は先着順ですのでお早めにお申し込み下さい。

## 《弁当》料金：¥1,000(税込み) 取扱日：10月14日(土)・15日(日)

\* 隣接するオークラアカデミアパークホテルにレストラン施設もございますが、キャパシティに限られる為、お弁当のお申し込みをお勧めいたします。

## 《申込方法》

別紙申込書(コピー可)にご記入の上、**9月13日(水)までに**郵送又はファックスにてお申し込み下さい。締切日以降の場合、宿泊は空室がある限りお受け致します。

申込先：(株)近畿日本ツーリスト 東京事務センター「日本国際政治学会」係

〒110-8757 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル3F

TEL:03-6730-3222 FAX:03-6730-3230 E-mail: [tourdesk29@or.knt.co.jp](mailto:tourdesk29@or.knt.co.jp)

## 《お支払い方法、宿泊の変更・取消について》

申込書到着後送付されます。予約回答書・請求書に基づき銀行振込又は現金書留にて総額を当支店へご送金下さい。振込手数料は各自ご負担下さい。尚、宿泊をお申込みの方は通信費としてお1人様500円申し受けます旨予めご了承下さい。(通信費は取消の場合でも払戻しは致しません。)。また、本紙に記載された宿泊代はホテルでは直接精算することはできませんのでご注意下さい。登録、昼食、懇親会、又は宿泊の予約の変更が生じた場合は、近畿日本ツーリスト宛必ず文書(ファックス又はE-mail)でご連絡下さい。参加登録、懇親会、弁当につきましては、お申し込み後の変更・取消は出来ません旨予めご了承下さい。

**取消料** 宿泊の取消が生じた場合下記の取消料がかかります。連泊の場合は、1泊のみが対象になります。

21日以前	20~10日前	9~2日前	前日	当日・不泊
無料	10%	20%	80%	100%

# 「かずさアーケ」へのアクセス

平成18年7月現在

## 1. 木更津駅からの定期路線バス・タクシー

木更津駅東口 / かずさアーケ間に送迎バス（定期バスの増発便）をご用意いたします。（無料）

10月13日 （金）	木更津東口発 かずさアーケ発	(10:40) 11:30 (11:45) 12:00 (12:07) 12:30 (13:05) (13:30) (18:07) (18:33) (19:07) (19:37) 19:45 20:00 20:15 (20:27)
10月14日 （土）	木更津東口発 かずさアーケ発	(08:00) 08:15 (08:20) 08:30 08:45 09:00 (10:30) (10:40) (14:03) (15:09) (16:53) (17:29) (18:33) 18:45 20:30 20:45
10月15日 （日）	木更津東口発 かずさアーケ発	(08:00) 08:15 (08:20) 08:30 08:45 09:00 (10:30) (10:40) (12:29) (14:03) (15:09) 16:45 (16:53) 17:00 (17:29) (18:33)

- \*（ ）は定期路線バスで有料（¥450）となります。
- \*木更津駅東口の乗車場所は3番又は5番となります。
- \*所要時間は交通事情にもよりますが約25～30分です。
- \*上記時間は変更になる場合もございますので予めご了承下さい。

タクシー	木更津駅東口ターミナル	約15分：約¥2,900
------	-------------	--------------

## 2. JRで

東京駅から京葉線で蘇我駅経由

東京駅から総武線で千葉駅経由

東京駅		木更津	本数 / 日	所要時間	料 金
JR内房線	特急さざなみ	京葉線経由	12	52分	¥2,180
	快速	京葉線経由	5	70分	¥1,280
	快速	総武線経由	10	80分	¥1,280

\*東京駅 蘇我駅間は、外房線（千葉駅経由）もご利用いただけます。

## 3. お車で

ルート	距離	時間	高速道路料金
京葉道路経由 湾岸道路経由	90km	約80分	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都高～京葉道路～館山道・木更津IC 普通車 ¥700 + ¥1,400 = ¥2,100</li> <li>首都高～東関道～京葉道路～館山道・木更津北IC 普通車 ¥700 + ¥1,600 = ¥2,300</li> </ul>
東京湾アクアライン	45km 東京～木更津北IC	約40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都高～アクアライン～館山道・木更津北IC 普通車 ¥700 + ¥3,000 + ¥550 = ¥4,250</li> </ul>

## 4. 東京湾アクアライン高速バス

木更津駅まで

	本 数	所要時間	料金（片道）
JR川崎駅～木更津駅	土・休日 25本 / 日 平日 35本 / 日	60～65分	¥1,400
羽田空港～木更津駅	37本 / 日	35～37分	¥1,200
JR横浜駅～木更津駅	40本 / 日	55分	¥1,500

- \*木更津駅東口から定期バスまたはタクシーをご利用下さい。
- \*アクアライン経由でタクシーを利用した場合、回送料として別途¥2,000がかかります。

東京駅からかずさアーケへの直通高速バス  
東京駅（または浜松町駅からはこちらが便利です。）

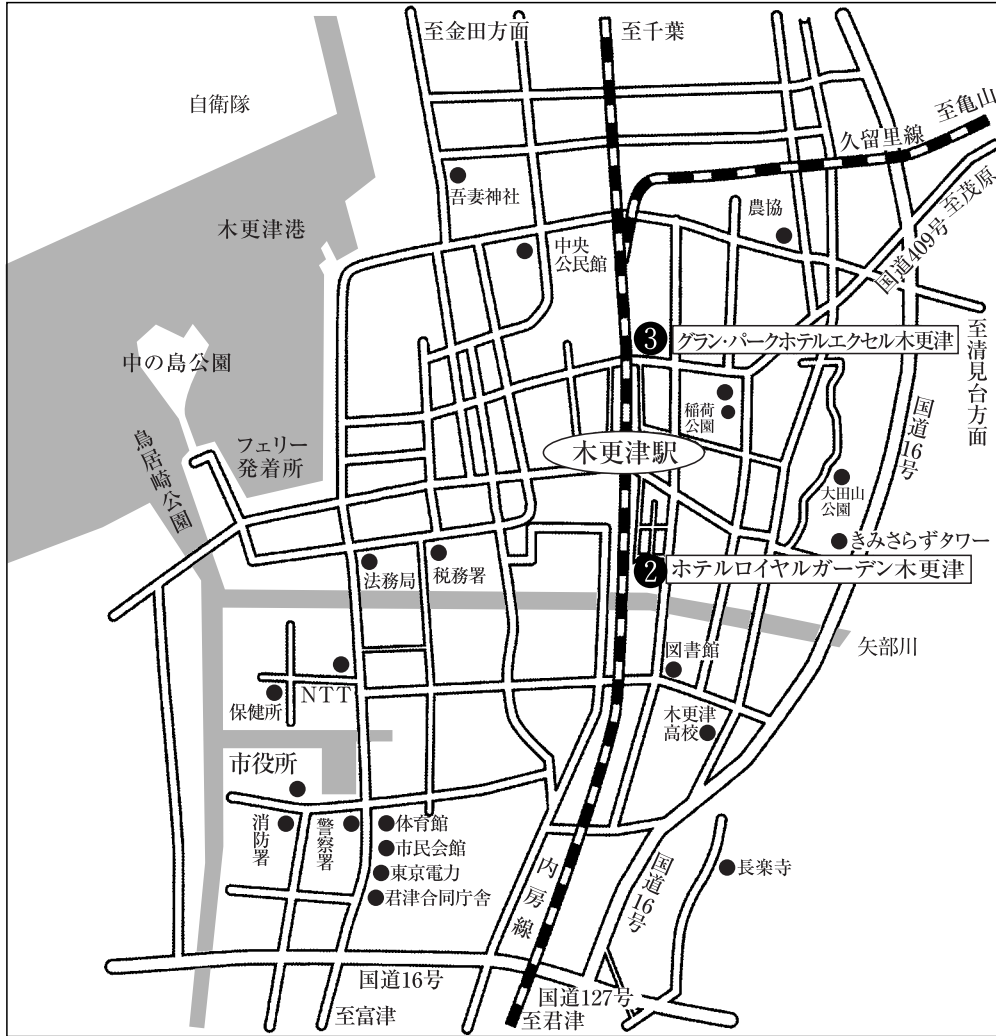
	本数	所要時間	料金（片道）
東京駅八重洲口～かずさアーケ	20本 / 日	65分	¥1,600

- \* ご乗車には予約が必要です。フリーダイヤル 0120-889-055  
携帯電話からは 047-432-1891

参 考 東京駅～高速金田 東京駅方面～高速金田 54本 / 日 40分 ¥1,200

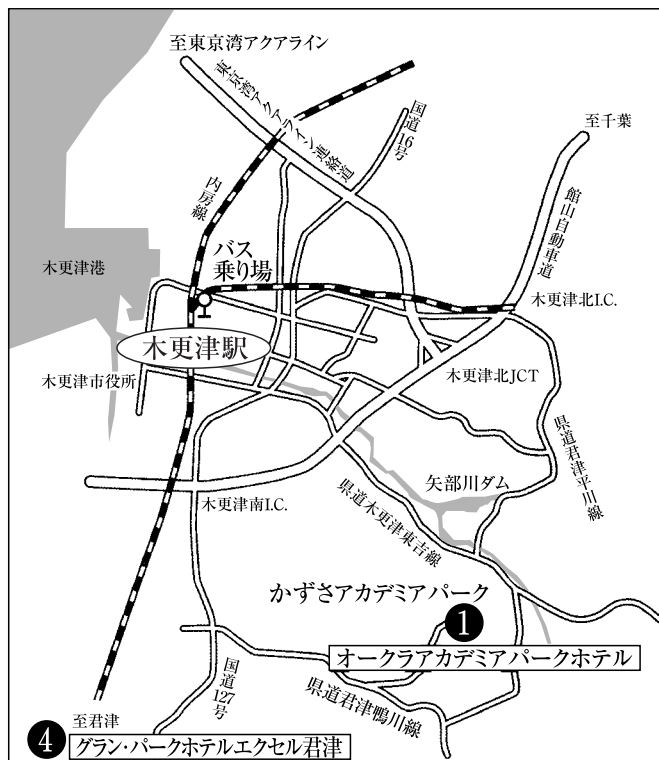
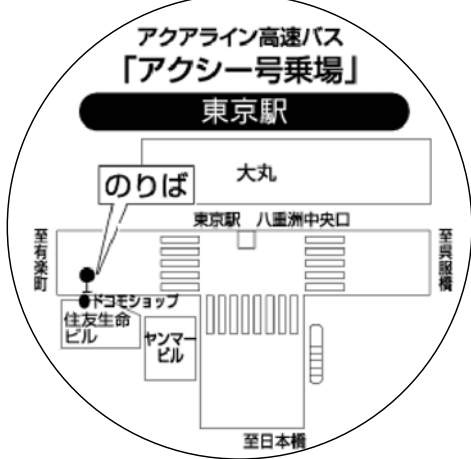


# Kisarazu Map



## 木更津市街地案内

「2003年10月1日より乗り場が変更されました。ご注意ください。」  
 八重洲口を出て、横断歩道を渡って住友生命  
 八重洲口ビルの前です。地下街からは2番の出口です。



## かずさアカデミアパーク

申込先  
〒110-8757 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル3F  
株近畿日本ツーリスト  
東京事務センター  
電話：03-6730-3222 E-mail: [tourdesk29@gp.knt.co.jp](mailto:tourdesk29@gp.knt.co.jp)  
FAX: 03-6730-3230

日本国際政治学会デスク

受付日		整理 番号	
-----	--	----------	--

**申込締切日：9月13日**

**日本国際政治学会2006年度研究大会**  
**2006年10月13日(金)～15日(日)**  
**参加申込書**

参加者(宿泊・弁当・懇親会の不要な方を含む)は必ずご記入の上、上記までご送付下さい。

ふりがな	
氏名	
連絡先住所 (回答書送付先)	〒 _____  (勤務先・自宅)
勤務先(所属)	
電話： _____	(内) _____ FAX： _____
e-mail address： _____	

《登録》

参加登録：	一般	¥3,000	院生会員	無料		
			院生非会員	¥1,000		
研究大会：	10月13日：	出席 欠席	10月14日：	出席 欠席	10月15日：	出席 欠席
懇親会：	参加	¥7,000	不参加			

《宿泊》

チェックイン：10月\_\_\_\_日 チェックアウト：10月\_\_\_\_日 計\_\_\_\_泊  
第1希望：ホテルコード \_\_\_\_\_ 部屋タイプ \_\_\_\_\_ シングル ツイン(2名利用)  
第2希望：ホテルコード \_\_\_\_\_ 部屋タイプ \_\_\_\_\_ シングル ツイン(2名利用)

ふりがな

ツインの場合の同室者氏名： \_\_\_\_\_

《弁当》

10月14日： 要・不要      10月15日： 要・不要

宿泊をお申し込みの方は、通信費としてお一人様500円申し受けます。  
変更・取消等による返金が生じた場合のため、返金先の口座をお知らせ下さい。

銀行	支店	普通 当座	口座番号	口座名義
----	----	----------	------	------

交通機関手配・その他のご要望のある方は通信欄にご記入下さい。

**【通信欄】**